

1. 基本的事項

- 入構のルールは別紙「[学生の入構に関する取り決め](#)」参照。
- 感染のリスクを避けるために、対面授業時ソーシャルディスタンスを学生も教員も心がける。
- 講義室使用前後は手指消毒する。(共用物品は感染のリスクがある)
- 講義室使用后、机、イス、器具を清拭する。
- 利用場所(立入許可ゾーンは別紙「[立入禁止区分のゾーニングマップ](#)」参照)
医学科 1 年生: P2、医学科 2 年生: P3、医学科 3 年生: P4、医学科 4 年生: L3
医学科 5 年生: チュートリアル室、医学科 6 年生: チュートリアル室。
看護学科 1 年生: 第 4 実習室、看護学科 2 年生: N12、看護学科 3 年生: N21
- 各学年授業とりまとめ担当者。看護学科は、それぞれのコース担当者。
オンライン配信に関して(総合): 藤谷
臨床実習(5, 6年生)に関して: 田島、竹谷、金崎、藤谷
医学科 1 年生: 岩田
医学科 2 年生: 藤谷
医学科 3 年生: 並河
医学科 4 年生: 磯部 学務課は、上記担当者にとりつぎのみ。

2. 配信側ルール

A) 授業の構成、方法

- 授業の方針、評価の方針を可能な限り早く明示する。
- 授業の予定表を速やかに開示する。(学務課担当)
- 学生のプライバシーに配慮(原則として、ビデオオンを強制しない)
- 音声、話すスピード、間(ま)に配慮する。
- 教科書を持たない学生がいることへの配慮をこころがける。

B) オンライン配信について

- 教員は、Moodle の W&M 担当者オンライン授業サポートコース (医学部版)を精読するのがのぞましい。[\(https://moodle.cerd.shimane-u.ac.jp/moodle/\)](https://moodle.cerd.shimane-u.ac.jp/moodle/)
- Moodle、office365(Stream)が基本となる学習管理システム(Learning Management System)とする(授業教材の配布、WebEx の URL 伝達、課題提出等)。Moodle サーバーの問題が起こりうるので、直接のやりとりにメールを使用しても良い。
- オンデマンド動画を準備するのに、Zoom, Powerpoint, Keynote 等を使用しても良い。
- オンデマンドに移行するのが望ましい。

- なるべくWeb 会議システムは WebEx に統一する(Zoom, Teams もバックアップとして利用するのは禁止しない)。
- なるべく早くに、ライブ配信後は、Microsoft Stream へアップロードする。
- 授業は医学科については、全て録画を行い、異常がある場合は、録画システムから回復する。看護学科については、ビデオカメラで録画する体制である。
- 通信環境が悪い人がいるという前提で、録画した動画を教員が配信する。

C) 禁止事項および、患者の診療情報を扱うにあたっての注意

- dropbox, one drive, google drive, facebook , LINE 等を用いた教材配布の禁止
→(解決策)大きなファイルを 200MB 以下に圧縮、Moodle を利用すること。
- オンデマンドのストリーミングサービスとして YouTube は使わない。
→(解決策)Stream のみ使用許可。
- オンライン臨床実習、臨床医学・基礎医学の授業にて患者の診療情報を扱うにあたって
 - ◇ 教員側も誓約書を提出する(5/11 以降配布予定)
 - ◇ 配信するということは、漏洩する可能性が十分にあることを配信側が理解する。
 - ◇ 「オンライン授業に使用する資料に診療情報を使用する場合の指針(以下指針)」を遵守する。
 - 個人情報の匿名化を行う。
 - 画像データの匿名化(例:顔面、姿勢、手指静脈、指紋など)を行う。
 - 全ての配付資料はパスワードをかけた pdf 化が必要。Moodle を用いること。パスワードは、別途配布する。
 - 個人情報を含んだ診療の場面や電子カルテ等のライブ配信は禁止。(録画配信は匿名化に配慮して許可)。
 - 講座・診療科長が個人情報漏洩を事前にチェックし、正式な手続きをへて、許可を得る。(指針参照)
 - 漏洩があった場合は、直ちに届け出る(情報ネットワークセンター)。
 - 引用した文献や図表、画像、標本などには必ず引用先を表示する。

D) 動画教材作成、ネット配信時の著作権上の留意点

今年度のみ、授業目的公衆送信補償金制度の早期施行かつ、令和 2 年度に限り補償金額を特例的に無償として、本制度が施行。(<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/92169601.html>)

3. 受信側ルール

- A) 構内での授業の入構方法について (別紙「[学生の入構に関する取り決め](#)」参照)

B) オンライン授業の受講方法について

オンライン授業を受けるための準備について(出雲キャンパス版)

- https://www.med.shimane-u.ac.jp/COVID-19_measure/onlineclass_izumo.html
- **トラブルシューティング**(<https://moodle.cerd.shimane-u.ac.jp/moodle/course/view.php?id=389#section-5>)

C) 禁止事項

- 授業動画をダウンロードすること。(担当教員から許可を得た場合を除く)
- pdfを含む教材の再配布。
*再配布とは、ネットワーク上などで公開されている文書や画像、URL(インターネットブラウザの上部に文字列として表示)などを、許可なく別の Web ページや SNS(LINE、メッセージ、Twitter、Facebook、Instagram など)への添付、転載などによって公開したり配布したりすることをいう。
- 授業の様子を出席者の許可なく撮影したり、教材動画をビデオカメラ、スマートフォン、パソコンのアプリ等で録画、録音し、それを SNS に投稿したり、配布すること。
- 配布された WebEx 等の Web 会議の URL は Moodle から直接利用し、ミーティング ID やパスワードを他人と共有すること。

D) Webex を用いたオンライン講義に対するトラブル対応

- 医学科・看護学科 1~4 年生 → 【WebEx オンラインサポーターによる対応】
 - ①オンライン講義中…WebEx オンラインサポーターがアドバイザーを務めるオープンチャット※へ
※WebEx オンラインサポーターによって運営し、各学年の講義時間に合わせてアドバイザーとなる人員を配置している。受講者がオンライン講義に慣れるまで(1 週間)の短期的な対応を想定している。
 - ②改善点や要望などの事後報告…学友会設置のグーグルフォームへ (毎週金曜日に集計し、教務 WG を介して教職員へ共有)
- 医学科 5 年生【班ごとの対応】
 - ①オンライン講義中…ポリクリ班ごとの LINE グループへ。
緊急時はポリクリ班代表が持つ PHS で担当医師へ直接連絡
 - ②改善点や要望などの事後報告…班ごとにまとめて学友会設置のグーグルフォームへ
(毎週金曜日に集計し、教務 WG を介して教職員へ共有)
迅速な対応が必要な改善については担当教員との協議のもと進める。
- 医学科 6 年生
実習内容に個人差があるため、医局および担当教員と学生による相談のもと進める。